

【刊夕】日四十月八



加五稅郵錢十五月一 錢貳金部一 價定
刊休日祭曜日 録05行口話字21號5科告廣
治文時川 人刷印人輯編無行發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番0三六話電 社開新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

生活に就いて (一)

澤村 生 投

「雜草もめでたき花を高々と、空に擡げて憚からず咲く」とは亡き九條武子夫人の歌であります。實によい歌ですね。あの麗姿と才藻とを以て有名であり、そして高貴の家に住まはれた武子夫人も、その内的生活には深い憐みのあつた事は夫人の多く歌によつて窺ふ事が出来まゝです。この雜草の花の讚歌を讀んで見ますと廣々としてすがすがしい高原に立たれた時、夫人が如何に大自然の嬌りなき解放の悦びを感じられたかが分ると共に、夫人其人の一味の寂愁をたゞへた姿が偲ばれるのであります。又武子夫人の絶唱だと傳へられる「おほいなるものゝ力にひかれ行く我が足あとのおぼつかなしや」といふ詠草は之を味はふ毎に、私は非常に熱い何ものかを感じます。實に人間程小さなものは無い、人間程愚なものはない。又人間程不自由にも寂しい存在はない。かうした感慨は時として何人の胸にも忍び寄り、且つはびこり

来る感情であります。併しかうした感情も吾々凡人の常として直ちに泡沫の如く消え去つて、再び舊の如く騒ぐ風の夫にも似た感情の生活に立ち返るのであります。そして一方眼を放せば社會は一日と激甚なる競争發展の度を加へ、人と人とは心ならずも相闘ふべく餘儀なくされる現狀にありまゝです。吾々は決して一片の魚骨を眼がけて狂奔する犬猫を嗤ふ譯には參りませぬ見えざる牙を剥き心の爪を磨ぎつゝあるのが人間日常の姿なのであります。限りある物質の上に注がれる限りなき爛々たる我執の眼、活きんとする欲望は募り募つて胸の炎と燃え、眼裏の塵となつて寂智は曇り三界爲に狭しであります。併し吾々は遂にかくて終るべきでありませうか。人間生活とは斯の如く蠅蠅の内を過ぎ、一箇物慾の奴となつて尊き一生を消盡してよいものでせうか。白居易は、蝸牛角上何事を争ふ石火光中此身を寄すと詠じました。生死長夜の夢とも申します。吾々が自己の生活を直視し、人生の姿相に對



雜 詠

大竹 秋 平

- この町をいよ／＼去る日なつかしみ町外れまで歩み來にけり
- 一人ゐて書よみ居れば月てらす磯の邊ちかう鳥ゆき過ぎぬ
- 水鳥の足跡を踏みてあゆみつゝ舞子の濱よ我れ一人なり
- しば／＼や我が足音に驚きてふりかへりつゝ夜道急ぐも
- 大空の雲のゆき來を氣遣ひつ休みの朝の濯ぎ物干

すば／＼とさも美味そうに煙草のむらとし見れば我ものみたし
□人々にて相見し友の何となくへた／＼あるが淋しかりけり

時計眼鏡

トキワヤ 平一・電三三九

運動具と服装!!!

榮冠輝く品質と

価格のフラインプリー

平驛前 マルカ運動具部 電話三十二番

御新佛への大サーピス 法名入提灯の大廉賣

- 瓜形 一對房付 金一圓五十錢ヨリ
 - 角形 一對房付 金三圓ヨリ
 - 經尺三 金三圓ヨリ 尺四 金四圓半錢ヨリ
 - 尺五 金五圓半錢ヨリ 尺六 金七圓ヨリ
 - 尺八 金九圓ヨリ 二尺 金十圓半錢ヨリ
- 是非御下命は電話九五番? 平四丁目 スガノヤ提灯店

△おまぢ兼の

アート新製品ベスト判

カメラ入荷致しました

このカメラはベスト判（書面は縦一寸九分横一寸三分）即ち米國イーストマン會社のベストロダックや獨逸のキール。ツアリス會社のビコレツテと同様に寫ります。バルブ及びシャッターは正面上部のボタンの廻轉に依つて簡単に調節出来ますから高級品と變りありません。又普通小型フィルムもアダプター（補助枠）に依つて簡単に使用出来ますから非常に便利で着荷早々大好評にて陸續御用命を頂いて居ります。何卒弊店ウインドーの實物を御覽下さい。

新製品

アートベスト判カメラ 附屬品付 特價 金一圓五十錢

新製品C1號

アート・レフレックスカメラ 附屬品付 特價 金貳圓五十錢

この外一組金五十錢より三圓五十錢迄各種あります尙弊店より御買上の御客様へは上達する迄親切に御教へ致します。おわかりにならぬ方は御遠慮なく御申出下さい。

優勝旗爭奪戰

第三回 懸賞寫眞募集

切 八月二十日 發表 八月二十五日

賞品及び規定は弊店ウインドウに掲載してあります

模型飛行機用材料賣行 旺盛の爲め 品切の處今般澤山入荷致しました

飛行機材料豊富

平驛前

いづみや玩具店

政民共に緊張の色

政友部會は現議員の再選 民政野崎派も同様の策戦

幹部達の意向決定

縣議選の切迫と共に政民兩派共に緊張の色を示し夫々潜在的に準備を進め初めた模様であるが政友派に於ては昨日午後一時から大村屋に於て幹部會を開き對策協議の結果現議員の再選を期して野黨の氣概を示すべく決定一方民政部會の野崎派に於ても昨夜協議會を開會、野崎、若松、鷺の三縣議を推薦する事となつたが若松派には野崎氏を廢して萩原氏を擁立する模様があり今後の形勢容易に逆轉し難きものあり何れ兩黨共に開かれる豫選會を切掛に

猛烈な縣議選の本舞臺を展開するに至るであらうと因に昭和二年の各候補者得点数は左記の如くである	
(政友派)	(民政派)
二、二二二 井上茂作	三、〇九六 若松美三
三、六三一 山崎吉平	三、七四〇 野崎滿藏
四、四三五 鈴木辰三郎	四、二二一 鷺清昇
三、九二〇 古川傳一	合計 一一、〇八〇
合計 一四、二〇五	(中立其他)
	二、〇八二 青沼鋒太郎
	八三二 田子健吉
	六五〇 廣瀬貞

秋蠶繭の取引數量は

昨年をしのぐ豫想

卅日開始の四倉市場が製糸業者に勧誘状

石城郡四倉繭市場は既記の如く来る卅日より秋蠶繭の取引を開始する筈であるが同市場にては各製糸業者に

入る、關を離れた主従がやつとむねをなで下し、かくも不遇な主君の運命を嘆く「曲」は謡曲の文章を讀んだ丈けでも涙を催す劇烈悲痛な問答の後

熱演を期待(下)

平喜多會主催の大會に就て

山崎忠兵衛

「安宅」はこの勸進帳を基調として前段には勇壯な旅路の強吟があり、痛烈な問答となる。ワキも仲々の大役である。高木氏は雄大な音調を以てシテ實氏に鋭く迫るであらう。シテは亦落ち付き拂つて深慮沈勇の大量を

示しつゝ、豪壯なる勸進帳でワキをアツと云はせるであらう。關所にかゝるワキに呼止められる、諸國勸進の山伏だから通せ、いや通さぬ、ノットと讀む、では勸進帳を讀め、勸進帳を讀上げて、通らうとす

富樫が酒を持參して互に酌み交し舞を舞ふ。キリリと身支度整へた主従がまた奥州へ急ぐ「切り」の一段は爽快である。次に「百萬」は代表的な「狂女物」である。番組にも解説が付い

てゐるが、百萬といふ女が一人の息子の行方を尋ねて狂ひ廻る「哀れさ」を主潮として、之に「狂ひ」の趣きと「本尊」の利役を添へた好個の傑作と云へやう。「安宅」の様な變化はないが全曲を通じて實に

章と云ひ、節付と云ひ味うべき所である。高子義男氏は百萬に打て付けのシテ役ホロリとさせられるであらう金子五郎氏は廿五歳の青年能樂師、廿年後の能樂界を背負つて第一線に立たれる方である。名人故金子龜五郎氏の御忘れ形見で六才頃

意申候 敬具

養蠶組合から

石城郡各町村の養蠶同業組合では組合の一部門たる蠶絲業を今回獨立させる爲め協議中であつたが廿日午前九時平町各種團體事務所樓上に養蠶同業組合各町村支部長及び各町村長繭市場關係者蠶絲指導者等六十餘名が集合蠶絲業組合設立に關する打合せ會を開き實行委員を擧げて協議すると

平町人事

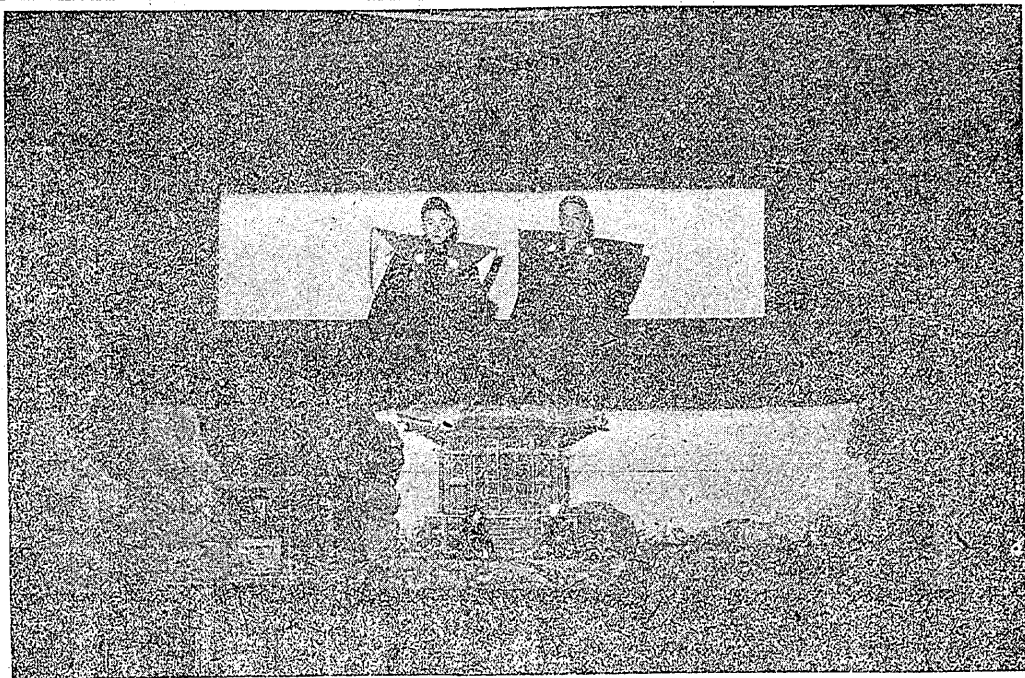
出生
△新町八 丸信夫氏三男邦夫
△新町二一 當時東京府南葛飾郡 鷗田町公吏中井信夫氏(二八) 石城郡玉川村字島二六 小泉ハナ(二三)

遺體 醫内藥局 遺體計 電話 〇〇〇番

御見落す勿れ

眞に國術的藝寶 結城人形劇 來る

名家元 結城孫三郎
名人 結城一糸
外十數名



(面場ノ記 驗靈坂 壺)

八月十四日二日間限り

入場料大破額金三十錢前賣券は金二十錢 各理髮店にて御買上を乞ふ

午後六時開場 於 聚樂館

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

又もや・危険千萬……

寺院のゆか下に爆薬

屋臺車のと聯絡あるらし

計画的に隠匿か？

既報十二日石城郡内郷村字鈴木たい(四)所有の屋臺車の中から硝石燧管三十本及雷管三十本を發見され未だに落し主の判明しない折柄十三日夕方石城郡神谷村大字下神谷字宿來光寺の椽の下に鑛山用硝石火薬七本が矢張り古新聞に包まれて有るものを同寺の住職が發見其筋へ届出たが前記屋臺車の火薬と同種類の火薬であるので其筋では何等か連絡あつて計画的に隠匿したものと睨み目下平、四倉兩署は協力目星しい人物を物色中である

初秋蟹發育

概して良好

石城郡下の初秋蟹は早きは四眠起き遅きは三眠桑付中

山の戀 海の戀を秘めた

迷ひ子郵便

七月中に廿三通

係員はこの暑い盛りに當てられて氣の毒な程

肩書きが違つてゐたり、名一體がハッキリしてゐない前が正しくなかつたり、書めに配達も出來ず、差出人

礦油輸入

免稅方申請

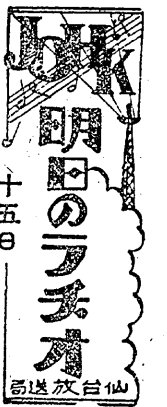
石城郡江名町信用販賣購買組合では漁業用發動機用礦油十九萬五千四百米ガロンを輸入することに於てこれを免稅方を申請中とのこと十三日商工大臣から認可された

に返す事も出來ない
不能還附 といふ迷ひ子郵便のシーズンに入つた

七月の中の迷ひ子郵便が封書が十一通葉書が十二枚で手紙の内大部分を占めるのはエロ百パーセントの戀文で差出人が本名を書かないために配達不能となれば返附は全然出來ないことになる、中には内容検査の結果差出人なり

受取人なりが判明し送達して貰つたもの、受取るのも氣まがりが悪く眞赤な顔をお目にかけるといふ珍景も可なり多く、内容検査から送達の出來たものが三通あつた、何といつても戀文が多数であるだけ不良の誘惑から出來た山の戀、海の戀、それがわかれて

家に歸つてからの戀文となるのであるが、名前も住所も出鱈目なので迷ひ子となる、それで八月九月は迷ひ子郵便のシーズンだといふ、暑い盛りに係員は大いにあてられて上氣してゐるのも氣の毒、そつつかじい人もあるもので、用件だけ書いて表書をしない葉書が毎月相當あると



明日の部

今晚は北東の風曇り小雨模様明日は南東の風曇り夕立模様

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 連続童話劇「昭和太郎君 高速度日本一周記」福岡の巻 福岡子供會
- 後六、三〇 東西文學の比較「支那小説と馬琴等の阿波の鳴戸」井上雪村
- 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河北新報社ニュース 氣象
- 後七、三〇 講演「南部利直公の事」東京帝國大學史料編纂部 上田芳一郎
- 後八、〇〇 盆踊
- 後八、一〇 盆踊 筑前盆踊 (福岡市百々松原より中継) 福岡縣宗像郡勝浦村有志
- 後八、二〇 盆踊「江州音頭」滋賀縣上郡 櫻川大龍
- 後八、三〇 吹奏樂 仙臺市民歌合唱其他仙臺少年團健兒音樂隊齊藤重太郎
- 後八、五〇 琵琶「白虎隊」半田錦崇
- 後九、〇〇 五等曲「大内山」菊地佐喜久外
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組預告 告知事項

- 前六、〇〇 ラヂオ体操
- 前六、三〇 夏期英語講座「中等科第二講の三」長澤英一郎
- 前七、〇〇 孟蘭盆會法要「甘露門」仙臺佛教青年聯盟
- 前八、五〇 運動競技(雨天順延) 第拾七回全國中等學校優勝野球大會狀況 甲子園より中継
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「百合の節かけ、牛蒡の海苔巻き」石竜たか發表 日用品値段
- 前一一、三〇 夏期講習「兒童舞踊」(八)花柳珠實
- 正午 時報
- 後〇、〇五 漫談「博士の音樂」井口静波 伴奏指揮 上宮勝
- 後〇、四〇 全國ニュース 河北新報ニュース 氣象

- 通報 告知事項
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 全國ニュース 河北新報社ニュース
- 後六、〇〇 (子供の時間) 連續童話劇「昭和太郎君 高速度日本一周記」瀬戸内海の巻) K K 子供サークル
- 後六、三〇 東西文學の比較「支那小説と馬琴等の小説」三 池田大伍
- 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河北新報社ニュース 氣象
- 後七、三〇 盆踊「秋田縣小林ゆきの外十八名 青森縣佐々木清八郎外十三名 福島縣近藤つね外十三名 宮城縣吉木桃園外五十九名 青森縣佐々木清八郎外十三名 宮城縣吉木桃園外五十九名 秋田縣小林ゆきの外十八名

知らぬ他國へと

駈落ちの若夫婦

家族の間に風波が絶えず

汽車を待つ平驛

今曉三時二十分平驛待合室に若夫婦連れがキョト〜邊りを見廻して居るのを平驛員が不審に思ひ取調ると双葉郡富岡町西臺一四阿久津重郎の長男勇雄(三)と同人の妻佐藤ルメ(三)である

引張りから

殴り合ひ……

石城郡飯野村大字下荒川字砂田十六草野政雄(三)は昨

夜九時頃南町飲食店新橋亭前に差懸ると同店の酌婦が一寸と引張つたけれども断はらうと扇子で拂つたのが酌婦の顔に當り其れを見て居た家人が何故酌婦を殴つたと喰つて掛り口論となり互ひに殴り合ひを始めた為め平驛にて取調中

金は有りませんと

酌婦が拘留を望む

石城郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤の飲食店會我トキ方酌婦武田ミチエ(三)は十三日無鑑札で酌婦稼業を爲した籠場に於て下さいと申立て係官もよく調べて見ると實

大敷網訟訴に

縣が乗り出す

小名濱漁業組合では大敷網の貸貸問題から高橋亘より損害賠償の請求を受け訴訟六ヶ年に亘つて解決しないので縣水産課では組合の將來を考慮し来る廿日組合代表者及び高橋側を縣に招致し圓滿解決のため仲介を執ることになつた

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎回文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

小説 七五三

(十一)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

破産 (4)

この暴風のなかに巻込まれた主人の半兵衛は度々失つてうろ／＼まご／＼するだけのこと、居合せた店員は一人として役に立つ者はなく、召使の女などはいづれも眞蒼になつて疎みかへつてゐた。

支配人の川島秀雄だけが主人に代り比較的冷静な態度で執達吏に應接したり債権者側と談判したりしたが、和解の話は容易にまとまりさうな様子になかつた。差押へは三時間も續いて八百何点から物品に花を散らしたやうに貼付がついたこの分では明日も續行しなければならぬと執達吏の一人が言つた。

その債権者は市中のある銀行と、植野徳藏といふ有名な高利貸とであつた。で、外にこんな小競合があつても誰一人出て来る者がなかつた。

風はまだ強く吹き荒んで車寄せに植えてある八ツ手の葉をばさ／＼と身ぶるいさせてゐた。

『あなた、どうぞ勘忍してやつて下さい。私がお詫をしますから……ほんとうに亂暴なことを致して相済ま



今に刑事問題にしてふん縛つてやるから覺へとれ』

起き上つた彌蔵が木村を睨んで怒鳴つた。

『何を』

木村がまた飛びかゝりさうにした。それを千代子が抑えて

『お止しなさいといふにさお前は短氣だから困るわよ十文字の家がどうならうとお前にまで迷惑はかけあしないから、成行にまかせて置いて頂戴ね。爺や、こんな贅澤品なんか無ければ無いで済むものなんだから。御入用な方に差上げておすひなさいな。ね』

『だつてお嬢さま。こいつの仕打が仕打ですもの、小面憎くつて堪へられねえぢやござせんか、いくらなんだつてこの車が停るか停らねえかに、いきなり飛び出して來て札を貼りつける法が……』

『い、わよ、何も言はないで我慢して下さい。お前の氣心はよく知つてゝよ』

千代子が斯ういつて木村をなだめた時に、その睫げからほろりと白い雫が落ちた。

木村は瞬きしてごくりと

睡を呑んだ。

『はい判りました』

『さ、それを何時もの通り格納庫へ入れて、清潔に掃除をして置いて下さい。今に無くなつたまう物だけどもお前の職掌だけはするやうにね』

『長りました』

後向きになつて眼を擦つた。千代子は二人に向つて軽く首を下げた。

『とんだ失禮を致しましたどうぞ悪からず』

『いや令嬢のお扱ひぢやゆるせん奴ぢやが特に無罪放棄としませう、なア、高野これは失禮しました』

彌蔵はこんなことを言つて惚々と千代子の姿を眺めた。

廣告

上田 外科醫院
平町 南町
電話二一九番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町 南町
電話一七〇番

難波醫院
平町 新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番

市原醫院
平町 田町
電話一四四番

藤沼醫院
平町 紺屋町
電話五〇七番

看護婦急派の求めに應じます

平町 南町
平看護婦會
電話三〇七番



平野前新通りの尖端に起つ

店内の照明装置等總べてウルトラモダン

藤彦

華麗なウエイ
トレス
のサ
ビス振
り正に
エロ一
〇〇%
を自負

氣分第一。味覺本位

(電 994)

貸切は

電話六四〇番へ

平二丁目
尼子タクシー部

主任 澤 正 路

シボレー、フォード號

使用者の一大福音!!!

ガンリン節約器完成

(氣化器上部取付ボルトは取替に及ばず)
專賣特許第八四二〇五號 定價壹圓五拾錢

本發明品は理論上ガソリンが二割の節約が出来る事となり、既に實地試験により明かに立證せられて居ります。假に一日一臺二圓のガソリンを使用して居る車ならば

一ヶ月 本器使用以前のガソリン代六拾圓也
本器使用後のガソリン代四拾八圓也
即ち 拾貳圓也の節約

が出来る事になります。且つ本品は永久的のもので價格低廉取付に甚だ簡便であります。尙該製作品に對して製作者は絶對責任を持つて居りますから、萬一不良品のありたる時は何時でも御取替へ致します。斯くの如き國家的大發明に對し政府は細密なる試験の結果專賣特許を許可せられたのですから、御安心して御使用下さい。

△：特長本器を取付るとガソリン節約のみでなく機關の運轉を圓滑ならしめ氣化器の空氣すい込の音非常に高くなり爽快なる運轉が出来ます。

(明細書進呈) 一日も早く御使用あり其眞價を知られ

申込所 平二 尼子タクシー部内 澤宛
製造所 東京市麻布區新廣尾町一ノ一二二

英商會

セメント
壁用材料
コーラタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目電三一